

# 経済建設文化常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。  
主な審査内容は次のとおりです。

## ☆H23 一般会計補正予算②

### ○放射性物質検査の補助経費

補助の内容は。

お茶などの農産物に対し、1品目につき1回限り、検査費用の1万円を補助するものである。市内のお茶・農産物の被害は出ていない。

### ○川根温泉宿泊施設建設事業

総事業費が18億円に増えた理由は何か。

当初約15億円から16億円の事業費を提示した。基礎的な条件を整理する中で、構造は鉄骨造3階建て、一部4階建ての簡易なビジネスホテルの建築単価を参考に算出した結果が当初の実施計画に掲載した8億円であった。その後、基本構想・基本

計画の策定に当たり、大浴場を備えた本格的な宿泊施設を建設することになり、鉄筋コンクリート造となった。また、温泉を活用するための機械設備等により建築単価が上がり、18億円となった。



川根温泉宿泊施設イメージ図

## ☆工事請負契約

中心市街地交流拠点施設工事の入札の結果、(株)アーク東海が56億2000万円で契約を締結した。

### 問 新島田シヨッピングビル1階のテナントが撤退したと聞かすが、計画どおり進めるのか。

本体の優良建築物等の複合施設の工事はもう既に発注をし、現在、10%ぐらいの進捗である。基本的には来年の6月完成を目指して仕事を進めていく。

## ☆H22 一般会計決算認定

### ○農林業費

農業経営複合化支援事業の成果は何か。

茶価が低迷する中で、農家がお茶だけではなく、ほかの作物と複合化経営を行い経営改善を図る支援である。3戸以上の専業農家で組織する団体と限定したため、3団体が対象となった。実際の成果は今後に期待する。

### ○商工費

島田駅付近の飲食店マップを1万5000部作ったことについて、どのように評価しているか。

マップに載った店からは非常に好評を得たが、対象地区を中心市街地の中でも空き店舗対策地域に絞ったため、その地区から漏れた店から記載されていない等の反響があり、反省の必要が生じた。

### ○歳入

スポーツ振興くじ助成金982万円の内容は何か。

サッカーくじのtotoによる助成金で、中央公園テニスコートの全面張り替えを行った。事業費に対する4分の3の助成金である。



スポーツ振興くじ助成金により整備した中央公園テニスコート

# 民生病院教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。  
主な審査内容は次のとおりです。

## ☆H23 一般会計補正予算②

### ○障害福祉サービス費

**問** 活字文章読上げ装置の設置場所はどこか。

**答** 福祉課、市民課、税務課、児童課、本庁の2

### ○保健衛生総務費

**問** 安定ヨウ素剤を服用する際の副作用やヨウ素剤を飲めない体質の人への対応は。

**答** 階、3階、4階、保健福祉センターおよび3つの支所に置く予定である。

### ○教育振興費

**問** 学校図書購入費について、標準冊数の達成率70%を切った学校に重点的に図書を配備することを検討したか。

**答** 医師会の協力を受け、医師からも該当しそうな方については説明していく。

**問** 学校図書購入費について、標準冊数の達成率70%を切った学校に重点的に図書を配備することを検討したか。

**答** ここ数年、中学校の図書購入予算を厚くしている。今回は小学校に新しい本を増やしたいことから小学校にウエイトを置いた予算配分となった。

## ☆H23 介護保険事業特別会計補正予算②

**問** 介護保険計画は、平成24年度から新たな計画がスタートする。基金の活用と保険料は。

## ☆H22 一般会計決算認定

### ○学校給食費

**問** 北部学校給食調理場は老朽化が進んでいる。改築することは考えなかったのか。

**答** 第5期の介護保険事業計画の策定を進める中で、今後の介護事業のサービス量を計算し、基金の取崩しを含め保険料の検討をしたい。

**答** 北部、東部、西部、金谷をまとめた共同調理場の整備については、既に基本構想の策定および基本設計等を終えているが、他事業との調整等により実施計画が先送りとなっている。

## ☆H22 国民健康保険事業特別会計決算認定

**問** 平成22年度の国保会計は、補助金等を除けば単年度で赤字とのことだが、診療報酬が上がったために医療費が増えたのか。

**答** 医療費の増加は、診療報酬の改定が一番大き

## ☆H22 後期高齢者医療事業特別会計決算認定

**問** 平成21年度から平成22年度にかけて保険料がアップしている。一人当たりの負担増は。

**答** 決算ベースで、平成21年度が5万2026円、平成22年度が5万2136円で、実質110円の伸びである。

## ☆H22 病院事業会計決算認定

**問** 平成22年度は利益があった。診療報酬の増額と経費節減が理由だと思いが、具体的な経費節減は何か。

**答** 委託料が適正であるかを院長、副院長、経営企画課が中心となって審査した結果が主な要因である。



各課に配備される活字文章読上げ装置



老朽化が進む北部学校給食調理場



# 総務消防常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。  
主な審査内容は次のとおりです。

## ☆H23 一般会計補正予算②

### ○まちなか集積医療基本構想策定事業

【問】 病院改革プランに沿って新病院基本計画が策

定済みだが、どこまでこれを基本にしていくのか。

【答】 現病院の理念や基本方針、整備方針等を継承する。病院改革プラン策定以降に起こっている2次医療圏の状況変化や場所の変更、跡地利用について付加していく。

候補地として残すのであれば、2つの案を出すべきではないか。

【答】 取得可能性の見通しは大きな要素だが、まずは街中に医療拠点を移すという方針を明らかにし、その効果を明確にする作業から始めることにより市民の理解を得たい。

### ○産学官連携プロジェクト推進事業

【問】 大学誘致は、経済情勢が不安定な状況でどうなるかわからない。大学側との覚書の中に、確実な設置に関する約束事などが示されているのか。

【答】 大学側は、ある程度時間がかかるものと判断していると思う。

## ☆公共施設整備基金条例等の一部改正

【問】 8つの基金があるが、総額を一括で使うことを検討するの否か。

【答】 大災害時に弾力的に対応できるように改正するもので、例えば学校基金であればその目的としていた施設以外に使うことは想定していない。

## ☆H22 一般会計決算認定

### ○歳入歳出決算書

【問】 合併特例債分として加算されている地方交付税はどれくらいか。

【答】 合併特例債は平成19年度から借入れを始め、23年度から元金償還が始まる。22年度の償還は利子だけで7075万5000円。このうち財政需要額として70%に相当する4952万9000円が算入されている。

### ○空港周辺プロジェクト推進事業

【問】 県の空港ティーガーデンシティ構想の中に多目的産業展示施設以外の

提案はなかったのか。

【答】 「風の郷」の位置付けの中で、産業展示と研修宿泊セミナーが行える施設、アートワークシヨップなどを行う施設などを併せて設置する案が示されている。

※市の経済発展につなげるため、柔軟性のある案を考えてもらいたいとの意見があった。

### ○賦課徴収費

【問】 平成22年分の個人市民税の滞納件数が倍増しており、現年度分の総額は10億円になる。納税が滞り始めた人への対応は、年3回の納税相談に来てもらう。また、年1回、税務課職員全員が1カ月の期間で県外、県内を調査して滞納防止に努めている。

### ○自転車等駐車場費

【問】 南口駐車場を開設したことにより、北口駐車場の利用状況に変化はあるか。

【答】 利用率は、南口が34%、北口が80%でそれほど変化はない。  
※南口駐車場の利用率が上がるよう、雨よけや風よけ等の設置を求める意見があった。



「風の郷」エリアに位置付けられた旧金中跡地

【問】 街中に移転するための土地が取得できるかが最大のネックである。取得が困難だと判断されたときに、現在地も



島田駅南口の自転車等駐車場

# ザッ 討 論

賛成 ↔ 反対  
結果は表のとおり

## 【認定第1号】

### ○平成22年度一般会計決算の認定

#### 認定第1号に反対

空港の客を当て込み、多目的産業展示施設の用地取得をした。だが、空港の需要は予想の半分だ。施設を建設しても赤字経営に陥る危険があり、建設の準備はすべきではなかった。

五和幼稚園、金谷中央保育園の民営化計画は本来の市の責任を放棄するものであり行うべきではない。民営化を進めてきたことは容認できない。

静岡市との消防広域化の準備および静岡市に消防業務を委託する手法

は、島田市の消防力の低下を招く危険があるので反対する。

「廃プラ契約住民訴訟」

が最高裁で争われてきた。原告住民の勝訴の判決が下された。敗訴した市長から市民へ説明がないのはおかしい。

#### 認定第1号に賛成

平成になって2度の合併を経た本市は、「島田市総合計画」に掲げる市の将来像である「人と産業・文化の交流拠点・水と緑の健康都市島田」の

着実な実現と富士山静岡空港の利用促進、新東名「島田金谷インター」の開設などにより新たな発展が見込まれる。

財政環境が厳しさを増す中、財政の健全化判断

比率についても適正水準が保たれている。

今後は、将来にわたり

継続可能な安定した財政を維持し、さらなる行政改革に取り組む必要がある。徹底した簡素・合理化および重点的事業への効果的な資金分配に鋭意努力することに期待をして賛成とする。

## 【認定第10号】

### ○平成22年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定

#### 認定第10号に反対

後期高齢者医療制度

は、75歳になった途端、

別枠の差別医療制度に囲い込むもので、制度開始前から国民の大きな批判

の中で進められた。保険

料は2年ごとに改定され、「後期高齢者」の人口増、給付費の増に応じて自動的に引き上がる仕組みだ。本決算で初めての引き上げになったことは容認できない。所得割が6.84%から7.11%に、均等割は3万6000円から3万6400円に引き上げられた。未納額も前年度より増え、年金額1万5000円以下の普通徴収では、98.62%の取納率だ。

民主党政権は、廃止どころか新たな差別医療制度をつくろうとしている

る。元の老人保健制度に戻すべきだ。

#### 認定第10号に賛成

後期高齢者医療制度の

保険料は、2年に1度の見直しが行われている。平成22、23年の一人当たりの保険料は平成21年に比べ、均等割額で400円、所得割額は率にして0.24%の増であり、金額換算は実質で110円の増加となっている。しかし、保険料見直しによる被保険者の負担割合は10.26%であり、若い世代との均衡を図り制度設計上の1割負担を維持するためには、必要最低限の措置である。厚生労働省では後期高齢者医療制度廃止後の新たな制度の在り方について、法案提出に向け取り組むこととなっていることなどから、現時点においての制度維持はやむを得ないことであると考え、賛成する。

とあると考えると、

## 【議案第60号】

### ○平成23年度一般会計補正予算(第2号)

#### 議案第60号に反対

新病院の中心市街地移転は、大きな変更であるが十分な説明がない。また、用地買収の目的が立っていないことや大学誘致の方針が決まっていない段階での基本構想策定は時期尚早。

川根温泉宿泊施設は、島田市行政改革大綱に反する。当初計画額8億円が2.25倍の18億円に増額されており、当初計画がずさん。過疎法に定める過疎地域自立促進計画の大幅な変更を議会に諮らないことは不適切であり、議会軽視である。経営初年度は約1億2000万円、次年度から約6300万円の赤字経営は、財政状況が厳しく行財政改革を進めている中で許されない。

採決結果一覧（議案総数27件中、賛成・反対が分かれた3議案を掲載）

○=賛成、△=棄権 ×=反対、- =欠席		H 22 一般会計決算認定	H 22 後期高齢者事業特別会計決算認定	H 23 一般会計補正予算（第2号）
◎会派名 新生=新生しまだ 維新=維新塾 清流=清流会 創造=創造島田 共産=日本共産党島田市議団 公明=公明党島田市議団 明政=明政会				
氏名	会派名			
藤本善男	創造	○	○	○
八木伸雄	創造	○	○	○
村田千鶴子	新生	○	○	○
曾根嘉明	新生	○	○	○
橋本清	公明	○	○	○
仲田裕子	清流	○	○	○
星野哲也	清流	○	○	○
桜井洋子	共産	×	×	×
杉村要星	維新	○	○	○
佐野義晴	維新	○	○	×
紅林貢	維新	○	○	○
原木忍	明政	○	○	×
清水唯史	創造	○	○	○
平松吉祝	新生	○	○	○
小澤嘉曜	新生	○	○	○
富澤保宏	公明	○	○	○
大石節雄	清流	○	○	○
溝下一夫	清流	○	○	○
松本敏	共産	×	×	×
坂下修	維新	○	○	×
福田正男	維新	○	○	×
河原崎聖	明政	○	○	×

議案第60号に賛成

今回の補正は、千載一  
隅のチャンスである大学  
誘致と市民病院の中心市  
街地への移転に伴う、支  
援業務委託の経費と集積  
医療基本構想策定事業で  
ある。  
過疎債を有効利用した

長期滞在が可能な「川根  
温泉宿泊施設建設事業」  
の基本設計・実施設計・  
用地測量・地質調査等の  
業務委託料も計上されて  
いる。  
福島第一原子力発電所  
の事故の汚染対策とし  
て、安定ヨウ素剤の購入  
やお茶やその他農作物の

風評被害を払しょくする  
ための放射能検査費を助  
成する。  
島田市の将来を見据え  
る中で必要性和緊急性を  
有しており、厳しい財政  
状況を踏まえて内容的に  
精査された適切な予算措  
置であることを考え、賛  
成する。

議案第60号に反対

島田市民病院を街中に  
移転するための基本構想  
策定経費とその跡地に大  
学を誘致するための準備  
経費に反対する。市長は、  
前病院長から助言を受け  
たとして、商店街の活性  
化のためにジャスコの跡

地へ移転を決めたと答弁  
したが、現地建て替えて  
進められてきたこれまで  
の方針を覆すもので独断  
専行のやり方だ。ジャス  
コの跡地では狭く、基幹  
病院としての機能を果た  
せない。高層ビルにする  
というが、地震や災害時  
には問題だ。駐車場の確

保も大きな課題で、有料  
化も狙っている。市民の  
不安をよそに、不透明で  
強引に進められる病院移  
転と一体で進められる大  
学誘致は容認できない。

\*議長は採決には加わりません。（議席順。敬称略）



# 一般会計補正予算は4億2832万円を追加し可決

## 平成22年度決算は 一般会計はじめ12件をすべて認定

市議会9月定例会は、9月1日から9月30日までの30日間の会期で開催されました。

審議した議案は、交通事故の和解等の報告5件、平成22年度の決算の認定12件、一般議案14件、議会側からの提案1件です。

### 一般質問には

16人が登壇

3日間にわたり一般質問が行われました。その中では、予想される東海地震から市民を守る対策、原発事故での放射能汚染への対策、島田市民病院を街中へ移転する計画があります。その真意と具体案を問う質問が多くありました。また、大学を誘致する計画の真意について、川根温泉の宿泊施設の建設、再生可能な自然エネルギーの利用政策について等、多くの市政に関する質問がありました。

### 一般会計補正予算の

主な内容

大学誘致を促進するための準備経費400万円、島田市民病院を中心市街地に移転する構想の策定に600万円、浜岡原発

の事故から市民の命を守る安定ヨウ素剤の購入に100万円、浜岡原発の事故に備える放射能測定器の購入に360万7000円、川根温泉宿泊施設建設のための実施設計に7020万円、焼津市に委託していた消防通信指令事務を引き上げ、島田市独自で行う準備をする予算350万円、小・中学校の図書を購入する費用に500万円などが提案されました。さらに国保会計などの特別会計3件、病院会計の補正予算も提案されました。

### 条例が3件提案

条例では、①法律の改正に連動しての島田市税条例の改正、②突如の災害に備え、各種の基金を災害復興のために取り崩して使えるようにする基金条例の改正、③伊太田代地区に建設する市営霊

### 追加された入札に関する議案

園の利用条件などを定めるための条例改正が審議されました。その他市道の認定・廃止に関する議案も審議しました。

会期の途中で中心市街地交流拠点施設（スーパードック本通り3丁目店の跡地に建設中の施設）に関連し、「工事請負契約」の議案が提出されました。この工事は、新ショッピングビル内に島田市の図書館と児童センターを設置する工事を行うものです。入札には7社が参加し、(株)アーク東海が5億6595万円で落札しました。

### 議案質疑に7人が登壇し、27件について質疑

平成22年度の決算審議では、空港周辺プロジェクト

## 議決結果一覧

### ○全員賛成で認定・可決

平成22年度決算のうち

国民健康保険事業特別会計決算  
簡易水道事業特別会計決算  
土地取得事業特別会計決算

休日急患診療事業特別会計決算  
老人保健医療事業特別会計決算  
公共下水道事業特別会計決算

介護保険事業特別会計決算  
介護サービス事業特別会計決算  
水道事業会計決算

病院事業会計決算  
平成23年度補正予算のうち

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

介護保険事業特別会計補正予算(第2号)  
後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

病院事業会計補正予算(第1号)  
一般会計補正予算(第3号)

一般会計補正予算(第4号)  
都市計画税条例の一部改正

公共施設整備基金条例等の一部改正  
川根霊園条例の一部改正

市道路線の認定について  
市道路線の廃止について

工事請負契約について  
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

議員派遣について

### ○賛成多数で可決

平成22年度決算のうち

一般会計決算  
後期高齢者医療事業特別会計決算

市議会から農業委員候補として落合哲男氏、松本洋子氏、松浦みえ子氏、工藤重雄氏の4人が推薦されました。また、人権擁護委員には井鍋和彦氏、

**人事案件では**

採決を行う直前に意見を述べる討論では、賛成・反対で合計7人が登壇し、意見や主張を行いました。一般会計決算や後期高齢者医療事業特別会計決算および一般会計補正予算をめぐって討論が行われました。

**討論では7人が登壇し、自らの意見を主張**

クト推進事業の成果、予算執行状況などが質問されました。一般会計補正予算では放射線測定器の利用と測定値公表について、安定ヨウ素剤の保管と投与の方法、お茶の放射性物質検査に対する助成の内容などについて質疑が行われました。また、条例などについても質疑が交わされました。

**平成22年度会計の決算状況**

(単位：万円)

会計	歳入	歳出	差引額	
一般会計	372億1,984	346億1,350	26億 635	
特別会計	国民健康保険	96億3,482	90億8,809	5億4,674
	簡易水道	1億1,312	1億 808	503
	土地取得	4億5,998	4億5,998	0
	休日急患診療	1,777	1,149	628
	老人保健医療	1,044	1,044	0
	公共下水道	7億9,789	7億7,633	2,156
	介護保険	61億2,244	60億8,144	4,100
	介護サービス	7,675	4,908	2,767
	後期高齢者医療事業	9億2,262	9億2,033	229
	小計	181億5,583	175億 526	6億5,057
合計	553億7,567	521億1,876	32億5,691	

(注) 表中の差引額の不整合は、万円未満四捨五入による端数整理によるものです。

**平成22年度企業会計の決算状況**

(単位：万円)

会計	収入	支出	差引額	
水道	収益的	9億8,975	9億3,066	5,909
	資本的	5,510	3億3,925	△2億8,414
病院	収益的	126億3,520	120億6,884	5億6,636
	資本的	7億7,801	9億8,140	△2億 340

(注) 表中の差引額の不整合は、万円未満四捨五入による端数整理によるものです。

**健全化判断比率**

健全化判断比率	鳥田市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- % なし	12.33%	20.00%
連結実質赤字比率	- % なし	17.33%	35.00%
実質公債費比率	11.8%	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	87.0%	350.0 %	

**公営企業の資金不足比率**

特別会計の名称	鳥田市	経営健全化基準
鳥田市水道事業会計	- % なし	20.00%
鳥田市病院事業会計	- % なし	20.00%
鳥田市簡易水道事業特別会計	- % なし	20.00%
鳥田市公共下水道事業特別会計	- % なし	20.00%

(各比率の算定式)

実質赤字比率=実質赤字額/標準財政規模、連結実質赤字比率=連結実質赤字額/標準財政規模、実質公債費比率=実質公債費/標準財政規模等、将来負担比率=将来負担額/標準財政規模等、資金不足比率=資金不足額/事業の規模

鈴木宅治氏の2人が適任であるとの議決がなされました。

**最終日に追加議案が提案される**

最終日には交通事故における和解の案件が4件報告されました。また、

台風15号により、金谷中学校と初倉中学校のネットフェンスが被害を受け、その復旧費として2200万円の補正予算を追加したいとの提案がありました。

これら当局側から提案された各議案は、慎重審議のうえで採決に付した

結果、すべてが可決されました。

なお、別表にて平成22年度の決算状況(一般・特別会計および水道・病院の企業会計)を掲載しました。また、財政健全化判断比率、公営企業の資金不足比率の表も併せて掲載しました。

**○その他**

平成23年度補正予算のうち一般会計補正予算(第2号) 専決処分(報告)について(人身事故に係る和解) 専決処分(報告)について(物損事故に係る和解) (3件) 専決処分の報告について(人身事故及び物損事故に係る和解)

## 市議会報告と市民との意見交換会を開催します！



市議会定例会などの議会の活動の報告会と市民との意見交換会を開催します。

今回の市議会報告は、主に9月定例会での審議結果です。この定例会では、平成22年度の各会計の決算の内容についての審議などを行いました。

また、「防災について（災害対策と自主防災訓練等）」などについて、市民の皆様からご意見を伺う意見交換会を併せて開催します。

各会場に23人の市議会議員が分かれて出席します。是非、ご都合のよい会場にお越しください。

月 日	時 間	会 場		
11月12日(土)	午後7時～	保健福祉センターはなみずき 研修室	六合公民館ロクティ 第1集会室	コミュニティサロン金谷南 集会室1・2 (金谷南地域交流センター内)
11月19日(土)		初倉公民館くらら 第1・第2集会室	コミュニティサロン金谷北 多目的ホール (金谷北地域交流センター内)	川根地域交流センター 集会室
出席予定議員		橋本 清・仲田裕子 星野哲也・佐野義晴 松本 敏・坂下 修 杉村要星	曾根嘉明・大石節雄 紅林 貢・平松吉祝 藤本善男・原木 忍 福田正男・河原崎聖	中野浩二・村田千鶴子 八木伸雄・桜井洋子 小澤嘉曜・富澤保宏 溝下一夫・清水唯史

※ 駐車場に限りがありますので、乗り合わせ等でお越しください。

## 平成23年11月定例会の日程

平成23年第4回（11月）市議会定例会の日程は次のとおりです。本会議、常任委員会の傍聴にお越しください。いずれも午前9時30分開会予定です。

11月22日（火）本会議（議案上程）	12月6日（火）本会議（議案質疑）
12月1日（木）本会議（一般質問）	12月7日（水）常任委員会
12月2日（金）本会議（一般質問）	12月16日（金）本会議（最終日）
12月5日（月）本会議（一般質問：予備日）	

※なお、この予定は、変更されることがあります。

### 編集後記

彼岸が過ぎてやっと涼しくなったかと思えば、もう冬の気配が感じられるこの頃です。

平成23年度第3回定例会では、東日本大震災の教訓を得て、防災に対してさまざまな角度から質疑がなされました。また、「病院の建て替え」、「大学誘致」など島田市が大きく変遷しようとしている「時」であり、議会もこれらを熟議し、市民の皆さまにわかりやすく伝えていかなければなりません。議会だよりの果たす役割は大きく、さらなる充実に向けて努めてまいります。



### 議会だより編集等に関する特別委員会

委員長 藤本 善男  
副委員長 松本 敏  
委員 河原崎 聖  
仲田 裕子  
佐野 義晴  
平松 吉祝

島田市議会事務局 ☎ 36-7204  
Eメール: gikai@city.shimada.shizuoka.jp

ホームページ

http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai\_top.jsp